

1号機原子炉格納容器（PCV）内部調査の 実施について

平成24年5月28日

冷却設備部
冷却第二グループ



東京電力

1. 目的・実施事項

【目的】

- ・ P C V内データ直接採取による既採取データの信頼性検証
- ・ 画像取得等によるP C V内部の機器等の状況把握

【実施事項（検討中）】

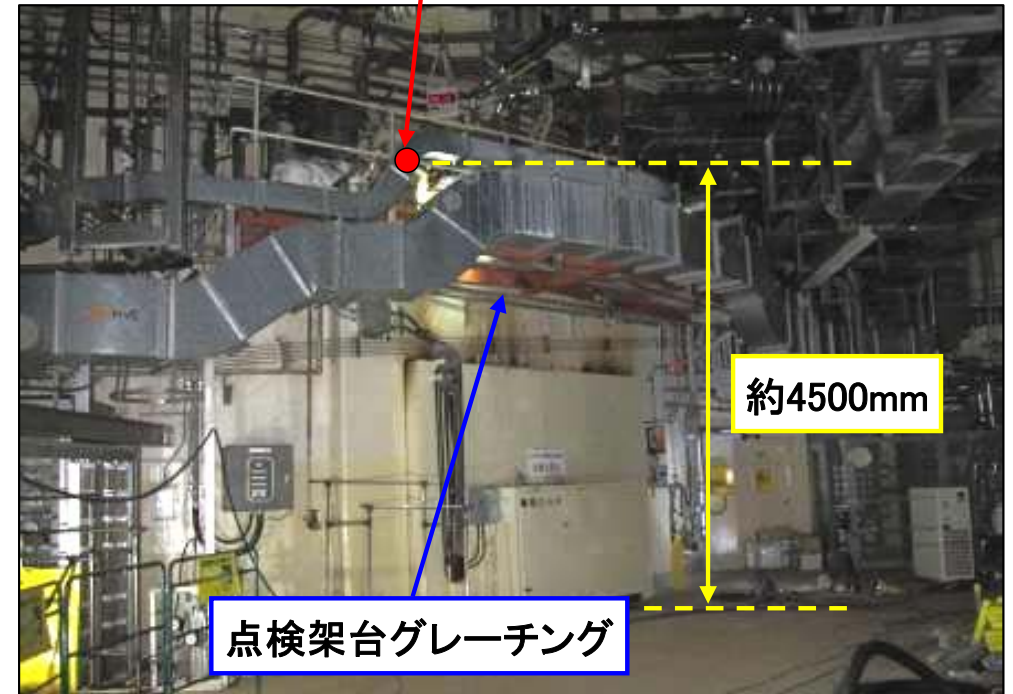
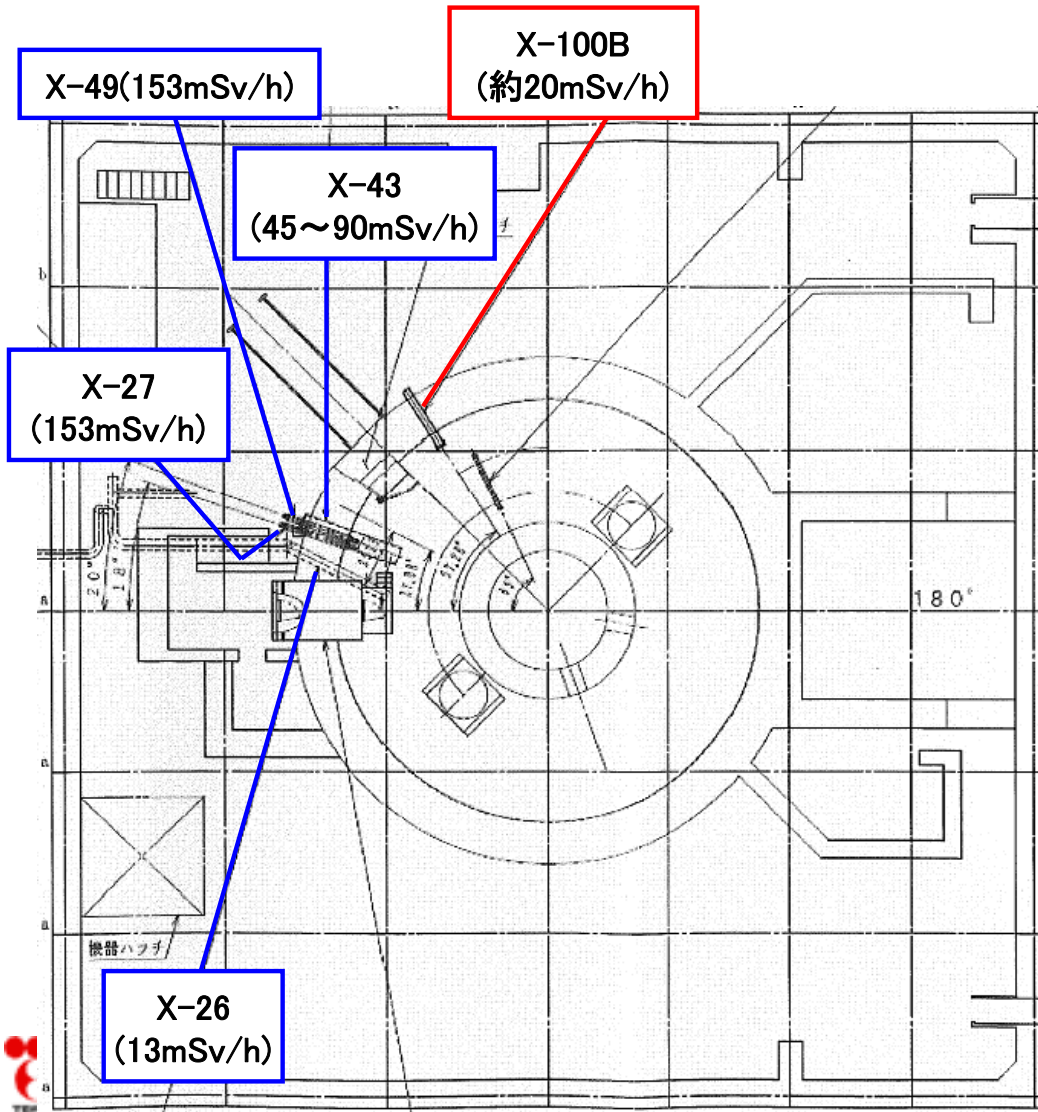
P C V貫通部(X-100Bペネ，原子炉建屋1階)に穴を開け，検査装置を挿入することにより，以下の調査を実施する。

No.	調査内容	検査装置
(1)	P C V内機器の状態を遠隔目視にて確認	CCDカメラ
(2)	P C V内の雰囲気温度，滞留水温度，滞留水水位を直接測定【調査後は常設化を検討】	CCDカメラ，熱電対，漏水センサ
(3)	P C V内の線量を測定する	CCDカメラ，線量測定器
(4)	滞留水の採取・分析を実施する	CCDカメラ，サンプリング装置

2. 1F-1PCV内部監視 調査可能ペネの選定

- 作業性・アクセス性を考慮し1階に設置されていること
- 他の候補ペネと比較して、比較的線量が低いこと

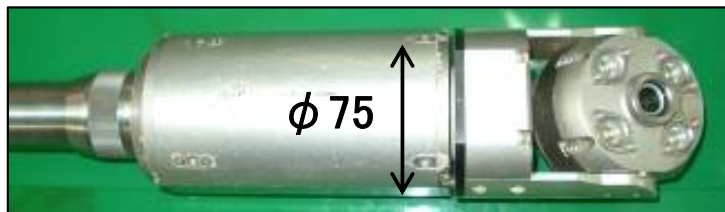
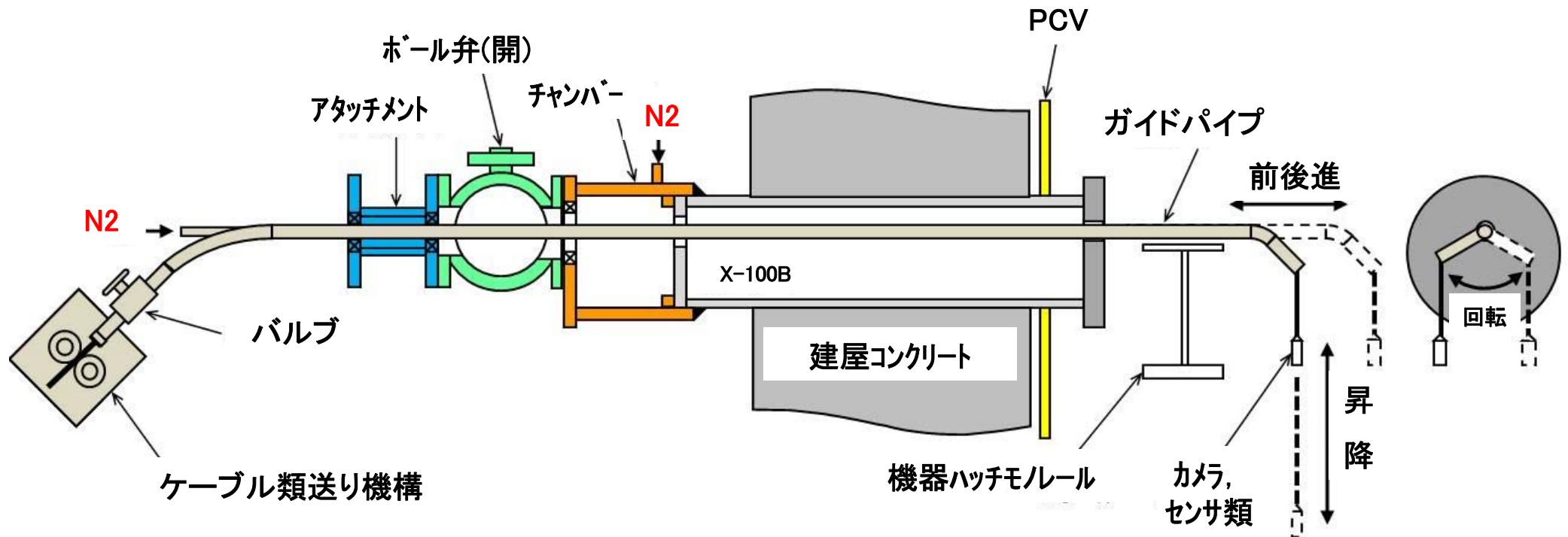
→ X-100Bペネを選定



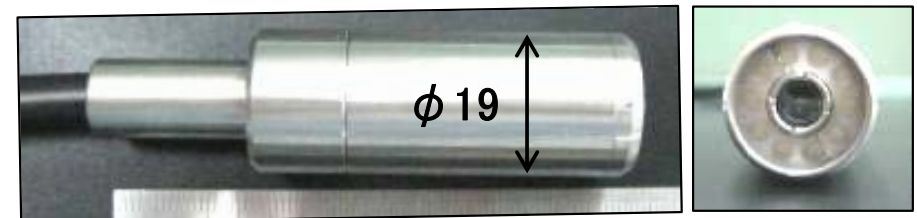
3. 1F-1 PCV内部調査装置の概要（検討中）

PCV内部確認

- ①ボール弁を開き，ガイドパイプを挿入
 - ②ガイドパイプ内にカメラ，センサー類を挿入し，PCVの内部確認
- ※グレーチングの上下でカメラを使い分ける（グレーチング開口：約90×25mm）

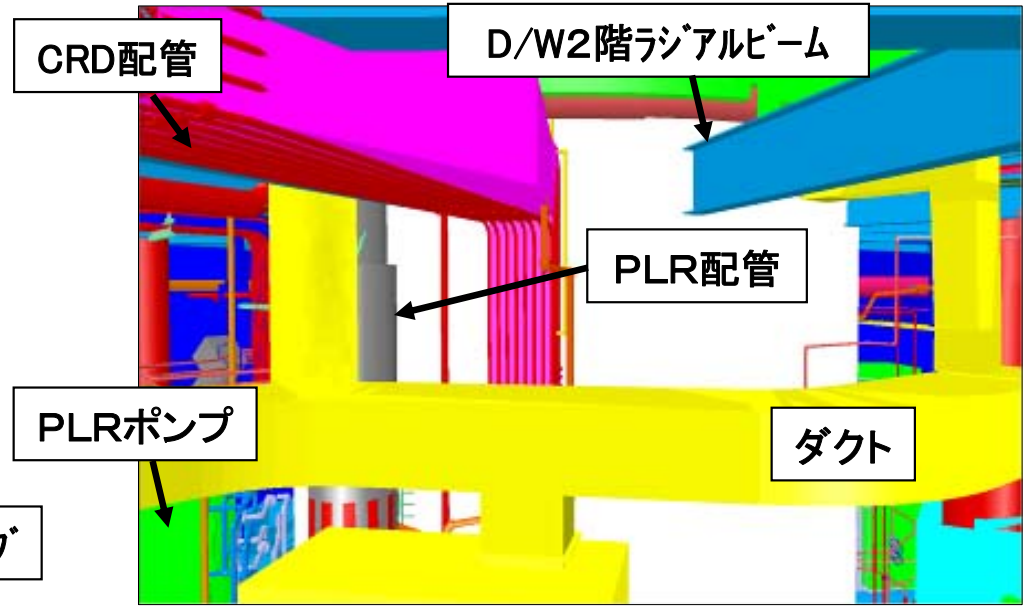
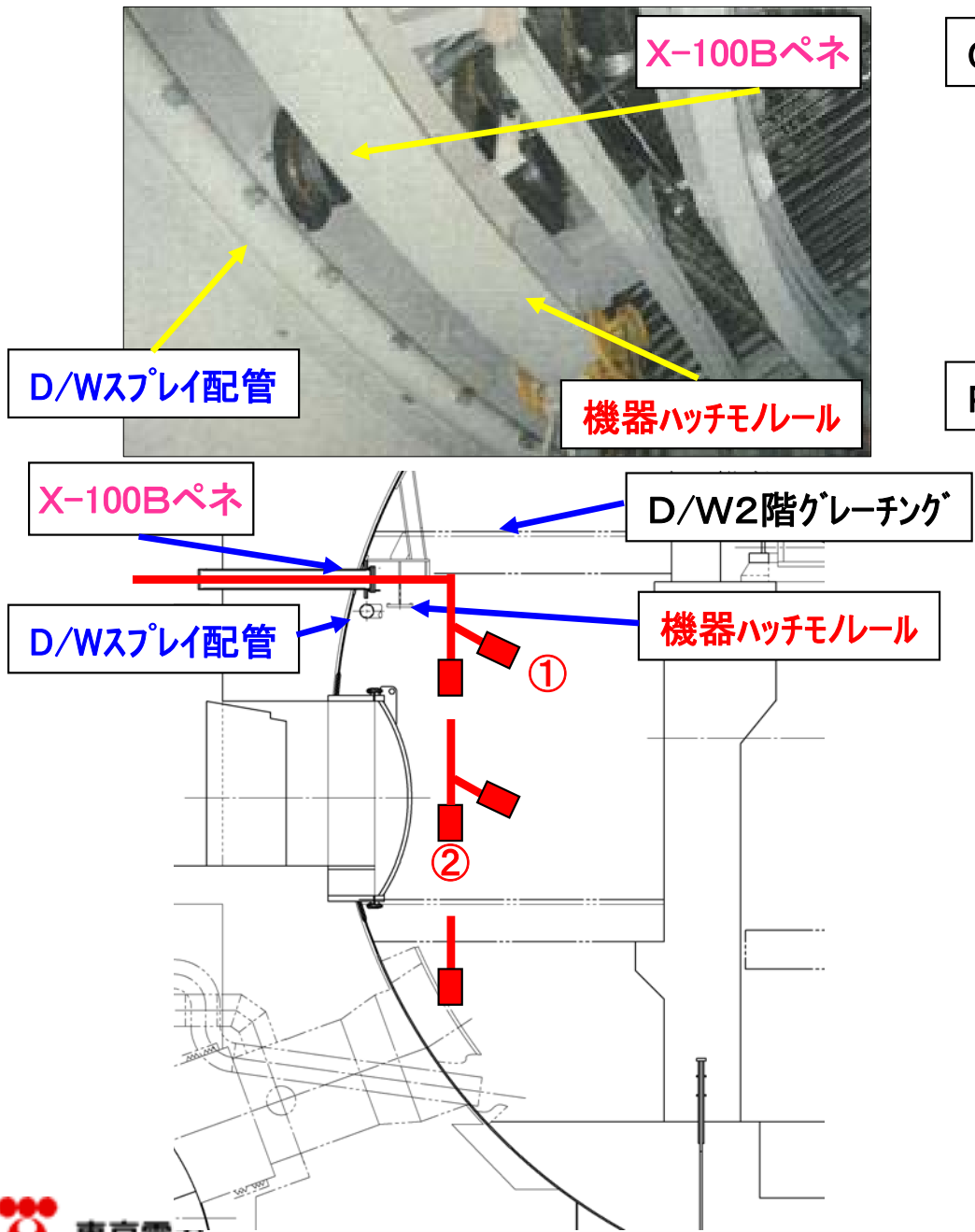


パン・チルトカメラ（D/W1階グレーチング上側用）

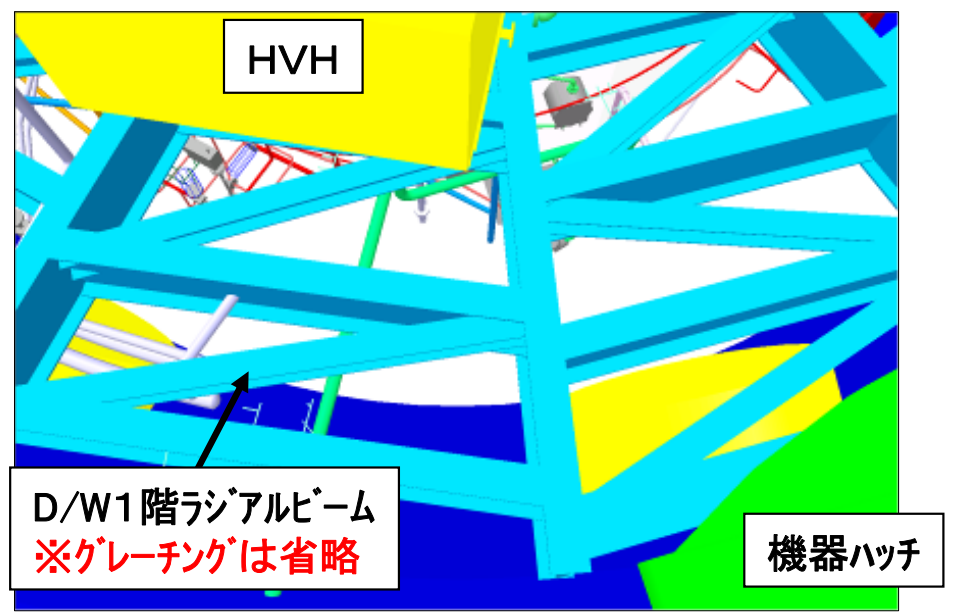


CCDカメラ（D/W1階グレーチング下側用）

4. 1F-1 PCV内状態調査 写真撮影例



カメラ位置①から見た映像



カメラ位置②から見た映像

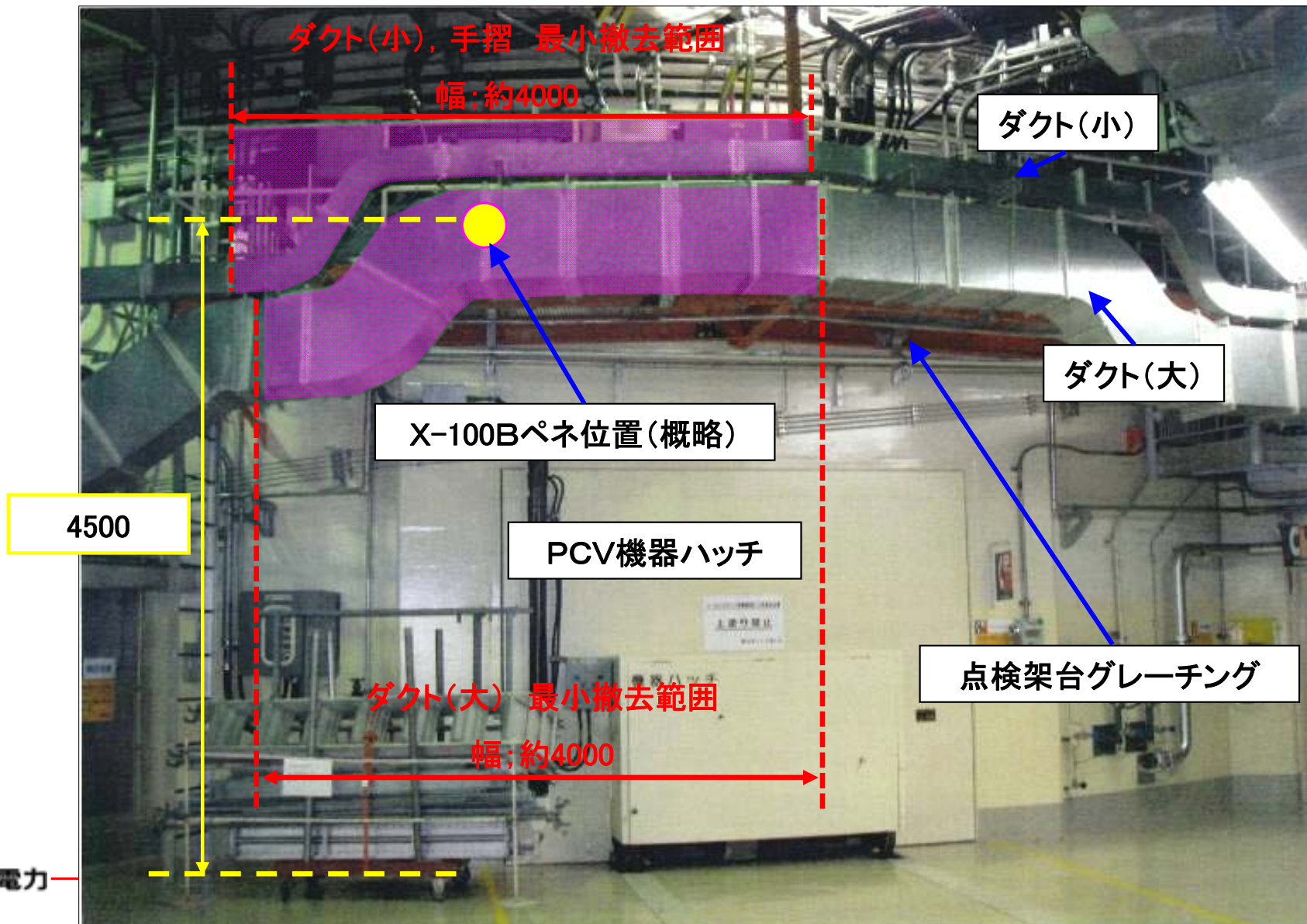
5. 工程案

No.	項目	5月	6月	7月	8月	9月
1	工事計画および現地調査		工事計画			
2	工事中装置、付帯設備およびモックアップ設備		装置、付帯設備設計／製作			
			モックアップ設備設計／製作			
3	モックアップ試験、トレーニングおよび工事要領			工事要領書作成	モックアップ試験、トレーニング (改善内容反映含む)	
4	現地工事・調査			準備工事		調査

※調査は、8月末から9月中旬の間で実施する見通

干渉物の撤去範囲【参考】

調査対象ペネが高所にあることおよび送り装置等を設置する必要があるため、干渉するダクトと手すりを撤去する。



仮設作業足場の設置（検討中）【参考】

